

＜令和2年度主要事業＞

第7次小樽市総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」等に基づき、本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 （括弧内の金額は予算現額）】

1 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

- ◎① 子育て世代包括支援センター整備事業費 8,408千円(8,500千円)
子育て世代包括支援センター事業費 1,595千円(2,000千円)
・妊娠・出産・子育てに関する相談に応じるワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを保健所内に開設（令和2年9月開設）
- ◎② 子育て支援情報配信事業費 660千円(660千円)
・子育て支援事業・予防接種・乳幼児健康診査等のタイムリーな子育て情報の配信と、母子の健康管理データの記録ができるスマートフォン用アプリを導入
- ③ 不妊検査助成事業費 772千円(1,000千円)
・保険医療機関で実施した不妊検査に要した費用（自己負担分）について、2万円を上限に助成
〔令和2年度〕助成件数：48件
- ◎④ 産後サポート事業費 60千円(330千円)
・生後5～6か月の第1子を持つ母親が集まり、参加者同士の交流を深めながら、保健師等による相談支援を実施

- ☆⑤ こども医療助成費、ひとり親家庭等医療助成費、重度心身障害者医療助成費 441,560千円(501,751千円)
・令和2年8月から、市民税課税世帯の未就学児の通院費について助成を拡大、自己負担を現行の1割負担から初診時一部負担金のみとし、全ての未就学児の医療費を実質無料化
- ◎⑥ 子育て支援員研修事業費 1,452千円(1,452千円)
・保育施設において保育補助業務の担い手となる人材を育成する「子育て支援員研修」（基本研修及び専門研修（地域型保育コース））を実施
- ⑦ 保育所等防犯対策強化整備費補助金 2,606千円(3,141千円)
・日赤保育所のブロック塀撤去及び防犯柵設置、相愛保育所の電気錠設置など、保育所等の防犯対策に対する補助
- ☆⑧ 管理代行業務費等（さくら学園） 77,727千円(82,232千円)
・児童発達支援センター「小樽市さくら学園」の管理代行業務について、療育支援のニーズの高まり等に対応し、令和2年度から職員を増員して定員を20名から28名に拡大
- ⑨ 子どもの学習・生活支援事業費 4,755千円(4,761千円)
〈こども福祉課3,811千円(3,812千円)、生活サポートセンター944千円(949千円)〉
・ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなどの生活支援を実施
- ☆⑩ 母子・父子家庭自立支援給付金支給事業費 25,158千円(25,419千円)
・ひとり親家庭の自立の促進を図るための資格を取得することを支援
・令和2年度から対象資格に臨床検査技師、臨床工学技士、言語聴覚士、歯科技工士、診療放射線技師、はり師、きゅう師、柔道整復師、視能訓練士、義肢装具士、自動車整備士、理容師、栄養士、精神保健福祉士を追加

- | | | | |
|--|----------------------|---|----------------------|
| ⑪ ふるさとキャリア教育推進事業費 | 128千円(600千円) | ⑩ 校舎等耐震診断経費(小学校) | 3,465千円(8,000千円) |
| ・子どもたちが「ふるさと小樽」のよさに気付き、自己の将来を考える機会を設けることで、小樽の将来を担う人材を育成 | | ・耐震診断未実施の学校施設に対する耐震診断を実施
令和2年度：忍路中央小(校舎・屋内運動場) | |
| ・令和2年度は、教材「おたるの歴史」を活用した出前講座、遊覧屋形船における講話、キャリア教育出前授業などを実施 | | | |
| ☆⑫ 学校図書館整備費(小学校) | 11,192千円(11,739千円) | ◎⑰ 校舎等耐震補強等事業費(塩谷小) | 4,994千円(9,000千円) |
| ・読書習慣の確立のため学校司書を増員し、学校図書館の整備を推進するとともに、正しい情報に触れる環境整備のため、学校図書館の図書購入・更新のほか、新学習指導要領の全面実施に合わせ、小学校の図書館に新聞1紙を配備 | | ・校舎の耐震補強工事に向けた実施設計 | |
| ☆⑬ スクールカウンセラー関係経費 | 2,467千円(2,554千円) | ◎⑱ 校舎等耐震補強等事業費(潮見台中) | 246,717千円(283,019千円) |
| ・不登校児童生徒の増加を踏まえ、スクールカウンセラーを2名から3名に増員 | | ・校舎の耐震補強工事、暖房改修工事等を実施 | |
| ・全小学校に月1回派遣し、定期的に教育相談を行う機会を創出 | | ⑲ トイレ改修事業費(中学校) | 47,129千円(58,299千円) |
| ◎⑭ 教育情報化推進事業費 | 654,507千円(664,878千円) | ・潮見台中学校の老朽化したトイレを洋式化へ改修 | |
| 〈小学校400,177千円(403,459千円)、中学校254,330千円(261,419千円)〉 | | ◎⑳ 屋内運動場大規模改造事業費(長橋小) | 205,238千円(210,614千円) |
| ・「GIGAスクール構想」を実現するため、高速大容量通信等のネットワーク環境を全小中学校に構築するとともに、1人1台端末を整備 | | ・長橋小学校の屋内運動場の大規模改造工事を実施
令和2年度：外壁、屋根、床の改修、トイレの洋式化、暖房設備の更新、照明のLED化 | |
| ・1人1台端末の導入支援を行うGIGAスクールサポーターを配置 | | | |
| ・ネットワーク環境のない家庭への貸出用モバイルWi-Fiルーターを購入 | | | |
| ◎⑮ 学校施設等長寿命化計画策定事業費 | 4,543千円(4,700千円) | | |
| ・「公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画として、小中学校施設の中長期的な維持管理費の削減や機能・性能確保のため、「小樽市学校施設等長寿命化計画」を策定 | | | |

2 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち(市民福祉)

- | | |
|--|----------------|
| ① 地域福祉計画策定事業費 | 837千円(1,242千円) |
| ・各福祉分野を横断的につなぎ、地域の福祉向上のための基本的な事項等を定める「小樽市地域福祉計画」を策定 | |
| ・令和2年度は、市民や各福祉団体から選出された委員による策定委員会の開催、テーマ別ワークショップ、住民懇談会による地域生活の課題把握、地域福祉セミナーによる意見聴取や周知啓発などを実施 | |

- ② ボランティア育成事業費補助金 2,320千円(2,320千円)
 - ・地域福祉推進の担い手である、地域住民によるボランティア団体等の活動や運営を支援する「小樽市ボランティア・市民活動センター」（社会福祉協議会に設置）に対する補助

- ③ ふれあいパス事業費 178,492千円(207,406千円)
 - ・70歳以上の市民に対し、「ふれあいパス」（バス乗車証又はJR特殊乗車券）を交付
 - ・令和2年度は、バス運賃改定分を市で負担し現行制度を維持

- ◎④ 高齢者保健福祉計画等策定事業費 258千円(350千円)
 - ・令和3年度から5年度までを計画期間とする小樽市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定

- ☆⑤〔介護保険事業〕認知症地域支援・ケア向上事業費 5,143千円(5,921千円)
 - ・認知症の方とその家族を支援するため、「認知症カフェ」の開催のほか、令和2年度は、状態に応じた適切なサービス提供の流れを示す「認知症ケアパス」を作成

- ☆⑥ 感染症等予防対策費 7,295千円(10,538千円)
 - ・インフルエンザ、エイズ、性感染症等、各種感染症の予防対策
 - ・令和2年度は、30～50歳代の男性を中心とする風しんの増加に対応し、対象年齢の男性（S37.4.2～S54.4.1生）に、風しん抗体検査のクーポン券を配布

- ☆⑦ 各種予防接種費 218,142千円(219,619千円)
 - ・小児の定期接種や、高齢者等のインフルエンザ予防接種に対する助成など、各種予防接種に要する経費
 - ・令和2年10月からロタウイルスワクチンが定期接種化され、生後6週～32週までの乳幼児を対象に実施

- ☆⑧〔国民健康保険事業〕特定健康診査等事業費 55,589千円(71,670千円)
 - ・国保加入者の特定健康診査の受診率向上のため、10月までの早期受診者全員に（11月以降は抽選）Q U Oカードを贈呈するほか、北海道国保連合会の特定健康診査受診率向上支援等共同事業に参加し、A Iを活用したセグメント分けにより、ナッジ理論を用いた受診勧奨等を拡大実施

- ⑨ がん検診推進事業費 1,127千円(1,400千円)
 - ・子宮頸がん、乳がんの各クーポン券の配布のほか、がん検診の結果、精密検査の対象になった者への受診勧奨等を実施

- ⑩ 受動喫煙対策促進事業費 73千円(350千円)
 - ・令和2年4月から改正健康増進法が全面施行、同年4月に北海道受動喫煙防止条例が施行されたことに伴い、ポスター・パンフレットによる周知や飲食店等施設事業者の受動喫煙防止対策について、相談指導を実施

3 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

- ◎① 森林環境整備事業費 10,462千円(10,462千円)
 - ・森林環境譲与税の導入に伴う森林整備等の一環として、長期未整備の私有林の現況調査や、旭展望台周辺環境の整備、旧手宮線への道産材のベンチ設置などを実施

- ◎② 浅海増養殖振興対策事業費補助金 126千円(300千円)
 - ・新たな栽培漁業推進のため、小樽市漁業協同組合が行うナマコの種苗生産に対する補助

- ③ 水産物ブランド化推進事業費 1,652千円(2,900千円)
- ・小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組を支援
 - ・令和2年度は、新商品開発販売モデル支援のほか、これまでの小樽水産加工グラプリ受賞商品のPR及び消費拡大の取組を実施
- ④ 稼ぐ力向上実践事業費 6,289千円(6,700千円)
- ・市内及び後志管内の食料品関係事業者を対象として、全国規模の商談会（関東・関西）への参加、商品特性や供給能力に適した新たな販路の開拓、商品の磨き上げ相談を実施
- ⑤ 海外販路拡大支援事業費 550千円(2,000千円)
- ・札幌市との連携事業による海外物産展や展示商談会への出展支援を実施
- ⑥ 中小企業振興会議運営経費 87千円(1,000千円)
- ・小樽市中小企業振興基本条例に規定する「施策の基本方針」の具体化に向けた調査・審議を実施
- ◎⑦ 中小企業等実態調査事業費 293千円(550千円)
- ・中小企業が抱える事業承継などの課題や現状を把握するためのアンケート調査を実施
- ⑧ 創業支援事業費 9,446千円(16,000千円)
- ・新規創業者に対して、事業開始に係る家賃や内外装工事費の一部を補助
 - 令和2年度：内外装工事費補助の限度額について、中心4商店街での創業は1,500千円、その他は500千円に変更し、利子補給は廃止
 - [令和2年度] 交付件数：15件
- ◎⑨ 於古発川店舗等解体事業費 35,365千円(46,809千円)
- ・老朽化した於古発川店舗C棟及び同棟横共同便所を解体し、護岸補修と転落防止柵を設置
- ◎⑩ 企業誘致サポート事業費 1,650千円(1,650千円)
- ・全国の企業（製造業、物流業、卸売業、情報サービス業等）へのアンケート調査と、本市に関心を持つ企業へのヒアリング等を、専門機関への委託により実施
- ⑪ 日本遺産地域活性化事業費 666千円(1,700千円)
- ・日本遺産を活用した地域活性化の取組を実施
 - ・令和2年度は、日本遺産の認知度を高めるために市内外でパネル展を開催したほか、教育旅行の誘致効果を高めるためにモデルコースを造成
- ◎⑫ トイレの洋式化等整備事業費（蘭島・銭函海水浴場）12,602千円(13,929千円)
- ・蘭島海水浴場及び銭函海水浴場に設置しているトイレの洋式化と、外観及び内部の改修を実施
- ◎⑬ DMO専門人材派遣事業費補助金 5,500千円(5,500千円)
- ・「地域DMO」（戦略的な観光地づくりを行う組織）の設立に向けて、その受け皿となる小樽観光協会に、マーケティング担当の専門人材の派遣に要する経費の一部を補助
- ◎⑭ 観光基礎調査事業費 5,610千円(6,000千円)
- ・事業所調査を実施し、本市の産業連関表を作成するとともに、観光客の動態及び観光消費状況から、観光が地域に及ぼす経済効果を分析

⑮ ロケツーリズムによるシティプロモーション事業費補助金
443千円(1,000千円)

- ・ロケとご当地グルメの祭典「全国ふるさと甲子園・特別版」の開催に合わせ、映像制作関係者などにロケ地としての本市をPRするとともに、観光情報アプリ「めぐると」を活用したロケツーリズムコース、漫画「聖樹のパン」聖地巡礼コース等の紹介を実施

◎⑯ さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会負担金 300千円(300千円)

- ・札幌市を中心とする12市町村で構成する「さっぽろ連携中枢都市圏」で組織した観光協議会への負担金
- ・外国人観光客を中心とした道外からの旅行者の誘客に向け、圏域として魅力を発信する各種連携事業を実施

☆⑰ 外国人観光客誘致広域連携事業費補助金 1,155千円(1,500千円)

- ・札幌市や運輸局、後志の他市町村と連携し、外国人観光客の誘致活動を行う実行委員会への補助
- ・これまでの「東アジア圏等観光客誘致広域連携事業」を拡大しながら、欧米豪もターゲットとするとともに、台湾・香港・タイの情報発信力のある人物を招請、ドイツ・フランスのメディア招請による酒と食のプロモーションなどを実施

☆⑱ 観光誘致促進事業費補助金 4,785千円(7,000千円)

- ・小樽観光協会が行う、国内外の観光客誘致や滞在時間延長を図るための各種事業に対する補助
- ・令和2年度は、ナイトタイムコンテンツ造成事業やオンラインツアーなどを実施

⑲ 国直轄工事費負担金（港湾施設）

◇北防波堤改良事業費 1,500千円(1,500千円)

- ・老朽化した施設の機能回復のための改良工事を実施

令和2年度：根固工

※令和2年度全体工事費 10,000千円

（うち市負担 1.5/10=1,500千円）

◇第3号ふ頭岸壁改良事業費 353,925千円(461,925千円)

（予算現額のうち108,000千円は令和3年度へ繰越）

- ・老朽化した施設の長寿命化及び大型客船の接岸を可能とするための改良工事を実施

令和2年度：16番岸壁 陸上地盤改良ほか

17番岸壁 海上地盤改良ほか

※令和2年度全体工事費 1,061,775千円

（うち市負担 1/3=353,925千円）

◇第3号ふ頭泊地改良事業費 72,150千円(72,150千円)

- ・岸壁の老朽化対策と合わせ、水深確保により大型客船の接岸を可能とするための泊地しゅんせつを実施

令和2年度：17番岸壁前面泊地 クラブしゅんせつ（V=45,000m³）

※令和2年度全体工事費 481,000千円

（うち市負担 1.5/10=72,150千円）

◎⑳ 駐車場等基盤整備事業費 9,727千円(12,300千円)

- ・第3号ふ頭の上屋解体跡地に、クルーズ船客の円滑な移動を確保するバス・タクシー等の駐車場を整備するため、実施設計業務等を実施

令和2年度：実施設計、測量

- ②① 港湾計画改訂事業費 50,301千円(72,111千円)
 (予算現額のうち17,756千円は令和3年度へ繰越)
- ・小樽港の20～30年後の目指すべき姿を示す「長期構想」策定のための検討業務を実施
 - ・今後10～15年後を目標とする「港湾計画」改訂のための港湾計画検討業務等を実施
- ②② 港湾改修事業費
- ◇色内ふ頭老朽化対策事業費 203,420千円(235,200千円)
 (予算現額のうち23,500千円は令和3年度へ繰越)
- ・老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施
 令和2年度：南側護岸改良 陸上地盤改良工事(L=50m)
 ※令和2年度全体事業費203,420千円(うち下水道会計負担分117,213千円)
- ◎◇若竹地区防波堤改良事業費 19,900千円(20,000千円)
- ・老朽化した防波堤の機能回復のため、実施設計業務等を実施
 令和2年度：実施設計、地質調査
- ②③ 若者就職マッチング支援事業費 2,120千円(2,600千円)
- ・高校生や大学生などの就職率向上及び地元定着のため、市内企業の見学会や出前企業説明会、インターンシップ等を実施
- ②④ 労働者地元定着事業費 172千円(200千円)
- ・市内企業の労働実態調査や新規高等学校卒業者の就職状況調査を実施

4 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

- ① 臨時市道整備事業費 319,700千円(350,000千円)
- ・市道の老朽化路線の更新、溢水対策などの道路改良を実施
 令和2年度：陸橋通分線ほか26路線
- ② 橋りょう長寿命化事業費 220,563千円(337,900千円)
 (予算現額のうち105,435千円は令和3年度へ繰越)
- ・「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの長寿命化と維持管理コストの削減を図るため、修繕等を計画的に実施
 令和2年度：〔修繕工事〕 銭函高架橋ほか2橋
 〔耐震化工事〕 銭函高架橋
 〔撤去工事〕 小樽内橋
 〔設計業務〕 上朝里橋ほか1橋
- ◎③ 空家実態調査事業費 5,566千円(6,000千円)
- ・次期空家等対策計画（令和3年度策定予定）の基礎資料とするとともに、空き家の流通促進等に活用するため、市内全域の空家実態調査を実施
- ☆④ 空き家対策事業費 2,151千円(2,500千円)
- ・空家等対策会議の開催や危険な空家等に対する取組の推進のほか、新たに不動産関係団体と連携して、良好な空家等の流通を促進
- ⑤ 移住促進事業費 684千円(1,000千円)
- ・居住地としての小樽の情報発信・PRを行い、潜在的な移住希望者の掘り起こしのほか、首都圏での移住フェアや小樽体験ツアー等により個々の相談に対応

- ⑥ 除雪費 1,560,067千円(1,613,900千円)
- ・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施するとともに、雪対策基本計画を策定
- ⑦ ロードヒーティング更新事業費 16,300千円(17,000千円)
- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
令和2年度：公園通線
- ⑧ 建設機械整備費 45,210千円(47,505千円)
- ・安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に増強・更新し、除排雪業務受託業者に貸与
令和2年度：ロータリ除雪車1台更新
- ◎⑨ 小樽駅前広場整備推進経費 4,636千円(6,000千円)
- ・隣接する小樽駅前第1ビルで予定されている再々開発にあわせ、小樽駅前広場の再整備を進めるための基本計画を策定
令和2年度：検討委員会開催、計画書案（整備案含む）作成
- ◎⑩ おたる新幹線まちづくりアクションプラン策定推進事業費 8,965千円(9,000千円)
- ・北海道新幹線新小樽（仮称）駅の開業効果を活用したまちづくりを進めるため、官民一体となってアクションプランを策定
- ◎⑪ 立地適正化計画推進経費 64千円(100千円)
- ・中心拠点と複数の地域拠点に都市機能が集約され、それらが交通ネットワークで結ばれた効率的なまちづくりを進めるための「立地適正化計画」の策定（令和4年度予定）に向け、令和3年度委託発注に係る国費要望を実施
- ◎⑫ 都市計画道路見直し推進事業費 5,887千円(9,200千円)
- ・長期未整備の都市計画道路の計画の必要性や事業の実現性等を検証し、変更・廃止を含めた見直しの方向性を検討
- ⑬ 地域公共交通活性化事業費 668千円(2,000千円)
- ・「地域公共交通網形成計画」に基づく市内公共交通の確保・維持に向けた施策を協議する協議会を開催するとともに、協議会が実施する市内バス路線図の作成などの施策に対して補助
- ◎⑭ 並行在来線対策調査費負担金 1,022千円(1,719千円)
- ・北海道新幹線並行在来線対策協議会が実施する函館線（函館・小樽間）に係る収支予測等調査に対する負担金
- ⑮ 鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 41,053千円(140,250千円)
- （うち40,320千円(40,500千円)は令和元年度から繰越
（予算現額のうち97,417千円は令和3年度へ繰越）
- ・鉄道駅バリアフリー化のための施設整備に掛かる費用の一部を補助（平成30～令和4年度）
令和2年度：南小樽駅こ線橋新設等
- ◎⑯ 国土強靱化地域計画策定関係経費 60千円(100千円)
- ・大規模自然災害に対する事前防災・減災と復旧復興に資する施策を、まちづくりや産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱化を推進するため、国土強靱化地域計画を策定

- ⑰ 防災関係経費
- ◎◇業務継続計画策定事業費 8,098千円(8,100千円)
- ・災害発生時、必要な業務を迅速・的確に行えるよう、あらかじめ非常時優先業務等を定める業務継続計画（BCP）を策定
 - 令和2年度：前提となる被害想定での非常時優先業務の特定や課題の整理等
- ◇避難支援事業費 3,711千円(4,500千円)
- ・河川の洪水や土砂災害のハザードマップを作成・配布
 - 令和2年度：6河川（蘭島・餅屋沢・塩谷・勝納・朝里・キライチ）
 - ・災害時に避難の支援が必要な方の名簿を作成し、関係機関と共有
- ☆◇防災訓練関係経費 290千円(400千円)
- ・小樽市総合防災訓練や、町会で実施する避難訓練・図上訓練への支援に加え、新たに避難所運営訓練を実施
- ◇防災情報通信設備整備事業費 38,852千円(103,000千円)
- (予算現額のうち61,578千円は令和3年度へ繰越)
- ・災害時に地域の情報発信を行うFMおたるの難聴地域を可能な限り解消し、情報伝達網を強化するため、中継局等の設備を整備
- ◇防災行政無線（同報系）整備事業費 150,348千円(155,000千円)
- ・津波などの災害時に、沿岸の住民等へ避難情報を迅速・確実に伝達するため、防災行政無線（屋外スピーカー）を整備
 - 令和2年度：令和元年度完工分（蘭島～手宮）の運用開始、手宮～銭函の整備工事
- ⑱ 消防署手宮支署建設事業費 666,546千円(697,277千円)
- (うち624,218千円(653,658千円)は債務負担分)
- ・手宮出張所と高島支所を統合して「消防署手宮支署」を建設
 - 令和2年度：建設工事、消防指令システムの改修工事ほか

- ⑲ 機動力増強・近代化事業費 62,591千円(63,000千円)
- ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台の更新
- ⑳ 消防・防災施設整備費 12,803千円(13,000千円)
- ・寄附を活用し、消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車を導入
- ◎㉑ 通信業務関係経費（多言語対応分） 183千円(550千円)
- ・外国人からの119番通報及び外国人の救急活動等における多言語対応のため、電話通訳センターを介した三者間同時通訳を導入
- ◎㉒ 通信業務関係経費（聴覚・言語機能障害者対応分） 693千円(730千円)
- ・聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等の画面操作で円滑に119番通報を行える緊急通報システムを導入
- ◎㉓ 多言語対応機器整備事業費 522千円(700千円)
- ・救急現場において外国人及び聴覚障害者との円滑なコミュニケーションを図るため、多言語音声翻訳アプリ（救急ボイストラ）を利用するタブレット型端末を高規格救急車全5台に導入

5 まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

- ◎① 旧ごみ焼却場解体経費 12,012千円(13,000千円)
- ・北海道新幹線新小樽（仮称）駅の整備に伴う、旧ごみ焼却場の解体
 - 令和2年度：実施計画策定
- ☆② 収集運搬経費 233,015千円(233,600千円)
- ・一般家庭から発生するごみの収集運搬業務
 - ・自力でごみ出しができない世帯へのごみ収集と声かけを行う「ふれあい収集」の体制を強化

③ 都市公園安全・安心事業費 34,278千円(34,600千円)

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具を地域住民のニーズを踏まえて更新

令和2年度：遊具更新（うたすつ公園、しらゆり公園、しあわせ公園等）

◎④ 旧緑小学校解体事業費 147,199千円(168,000千円)

- ・総合体育館なども含めた小樽公園利用者の当面の駐車場確保のため、旧緑小学校を解体

令和2年度：解体工事

⑤ 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金

4,975千円(16,000千円)

- ・景観条例に基づく「登録・指定歴史的建造物」の外観保全に要する経費の一部を助成

[助成基準] 歴史的建造物の外観保全に必要な経費の1/3以内(限度額 指定歴史的建造物6,000千円、登録歴史的建造物3,000千円)

[令和2年度] 助成件数：2件

◎⑥ 旧寿原邸利活用推進経費 1,376千円(1,376千円)

- ・旧寿原邸を歴史的建造物の有効活用事例とするため、法人等との協働によりDIY手法を用いた修復や、文化芸術イベント等、保全及び活用事業を実施

6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

☆① 施設改修事業費（図書館） 72,182千円(80,000千円)

- ・老朽化対策の改修工事を実施

令和2年度：屋上防水改修、エレベーター更新、館内照明のLED化

（併せて、寄附による児童室・休憩コーナー等の改修を実施）

② 施設整備事業費（総合博物館） 6,499千円(7,000千円)

- ・博物館本館の実験室空調設備及び非常用蓄電設備を更新

③ 収蔵車両等補修事業費 2,700千円(2,700千円)

- ・総合博物館が所蔵する鉄道車両の補修

令和2年度：蒸気機関車C55

④ 特別展開催経費（美術館） 2,836千円(4,373千円)

- ・水彩画家 白江正夫からのメッセージ（令和2年8月2日～10月11日）

- ・「北前船の華 - 北海道に渡った九谷焼（小樽・後志編）」

（令和2年10月24日～12月27日）

- ・没後一〇年 生誕一一〇年 再体験・一原有徳（令和3年1月9日～3月7日）

- ・「北海道の日本画家たち 小林コレクションⅠ」（令和3年3月13日～5月16日）

◎⑤ アート・ワークショップ推進事業費 170千円(170千円)

- ・アートの世界にいざなう参加・体験型のプログラムを実施

令和2年度：「ワンコイン・スタジオ」

地元で活躍する芸術家による作品制作教室などを開催

「アートの扉」

市内小学生向けの、美術館学芸員による出前授業を実施

◎⑥ 祝津ヨットハウス施設整備事業費 3,035千円(3,206千円)

- ・オーバースライディングドアを交換修理

◎⑦ 入船公園庭球場整備事業費 1,317千円(1,900千円)

- ・照明設備（制御盤等）の交換修理

⑧ 姉妹都市提携委員会交付金 140千円(5,400千円)

- ・姉妹都市との相互交流事業を実施
- ・令和2年度は、ナホトカ市の紹介動画を参加者が視聴し、ウラジオストク国立経済・サービス総合大学ナホトカ分校の校長及び生徒と意見交換を行う、多文化共生ワークショップを開催

7 その他の主要事業

① 総合戦略推進事業費 230千円(400千円)

- ・人口減少の克服と地域活性化に向けた施策を推進するため、次期総合戦略を策定するとともに、進捗管理のためのアンケート調査を実施

◎② ホームページリニューアル経費 6,160千円(8,500千円)

- ・市ホームページを、スマートフォンでも見やすく、目的のページを探しやすくするなど、利便性の高いホームページへ全面リニューアル

③ 町内会館等建設助成金 13,510千円(13,920千円)

- ・富岡公民館、オタモイ会館及び砂和会館の改修工事費の一部を助成

④ 個別施設計画策定事業費 5,400千円(5,400千円)

- ・統合化や複合化などにより公共施設の再編を示す「公共施設再編計画」及び公共施設の整備時期や維持管理方針などを定める「長寿命化計画」を策定

◎⑤ 葬斎場再整備事業費 44,734千円(52,000千円)

- ・令和2年度からの火葬炉使用料の有料化に合わせて、施設の延命化を図るため、計画的に大規模改修を実施

令和2年度：待合ロビー改修、控室バリアフリー化、冷房設備改修ほか

◎⑥ 合同墓拡張整備事業費 3,740千円(7,200千円)

- ・合同墓の納骨スペースを増設し、埋蔵可能容量を拡張

◎⑦ 小樽商業高校施設等取得費 19,189千円(19,189千円)

- ・国立小樽海上技術学校の移転・短大化（令和3年4月開校）及び市の公共施設再編のため、小樽商業高校の敷地及び施設を取得

令和2年度～令和11年度債務負担額 計200,000千円

☆⑧ 国勢調査費 60,200千円(65,000千円)

- ・国及び地方公共団体における各種施策その他の基礎資料となる、人及び世帯に関する全数調査を実施

☆⑨ ふるさと納税関係経費 190,756千円(190,756千円)

- ・「ふるさと納税」制度による寄附者へのお礼として地場産品を贈呈
- ・掲載先のポータルサイトを1サイトから3サイトへ拡充

<国庫支出金を活用した主な新型コロナウイルス感染症対策関連事業>

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月7日閣議決定、同年4月20日変更の閣議決定）を受けて国の補正予算で措置された「特別定額給付金給付事業費」、「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費」、「ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費」のほか、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

- ① 特別定額給付金給付事業費 11,413,907千円[11,413,907千円]
 - ・感染症拡大の影響を受けている家計への支援として、一人当たり10万円を給付
- ② 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 102,182千円[102,182千円]
 - ・子育て世帯の生活を支援するため、児童手当受給世帯（特例給付を除く。）に対して、対象児童一人当たり1万円を給付
- ③ ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費 181,704千円[181,704千円]
 - ・低所得のひとり親世帯を支援するため、臨時特別給付金を給付
 - 〔給付額〕基本給付（再支給分も同額） 1世帯5万円
第2子以降一人につき3万円
 - 追加給付 1世帯5万円
- ④ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,488,033千円[3,179,567千円]
 - ・議会ICT推進事業費 6,985千円[6,985千円]
 - ・感染拡大防止対策事業費（本庁舎・教育委員会庁舎） 4,574千円[4,574千円]
 - ・業務オンライン化関係システム整備事業費 11,235千円[11,235千円]
 - ・社会保障・税番号制度システム改修事業費 1,299千円[1,299千円]
 - ・小樽文化遺産情報発信・普及啓発事業費 9,986千円[9,986千円]

- ・公共交通事業者等支援事業費 24,163千円[24,163千円]
- ・ウィズコロナ移住促進事業費 4,119千円[10,000千円]
 - （事業費のうち5,881千円は令和3年度へ繰越）
- ・観光資源活用等共同研究事業費 2,190千円[6,590千円]
 - （事業費のうち4,400千円は令和3年度へ繰越）
- ・公共交通事業者等追加支援事業費 19,826千円[25,506千円]
 - （事業費のうち5,680千円は令和3年度へ繰越）
- ・バスロケーションシステム導入事業費補助金 60,000千円[60,000千円]
- ・除菌電解水配布事業費 1,521千円[1,521千円]
- ・避難所衛生環境整備事業費 5,181千円[5,181千円]
- ・町内会活動感染防止対策支援事業費補助金 5,600千円[5,600千円]
- ・離職者支援給付金支給事業費 20,946千円[22,594千円]
 - （事業費のうち1,648千円は令和3年度へ繰越）
- ・福祉・介護事業所等業務継続計画策定支援事業費 5,546千円[5,546千円]
- ・検温アラームシステム整備事業費（身体障害者福祉センター） 89千円[89千円]
- ・障害福祉施設事業継続支援事業費 11,436千円[11,436千円]
- ・ふれあいパス郵送交付関係事業費 5,323千円[5,323千円]
- ・介護保険施設事業継続支援事業費 28,762千円[28,762千円]
- ・おたるアクティブシニア応援アプリ開発事業費補助金 4,700千円[4,700千円]
- ・検温アラームシステム整備事業費（総合福祉センター） 89千円[89千円]
- ・塩谷児童センター運営経費（放課後児童健全育成事業費） 8千円[－千円]
- ・ひとり親家庭等生活支援金給付事業費 14,161千円[14,161千円]
- ・児童福祉施設事業継続支援事業費 4,922千円[4,922千円]
- ・児童福祉施設等職員慰労金支給事業費 38,294千円[38,294千円]
- ・新生児臨時給付金支給事業費 1,614千円[3,879千円]
 - （事業費のうち2,265千円は令和3年度へ繰越）
- ・検温アラームシステム整備事業費（市民会館・公会堂・市民センター） 2,089千円[2,089千円]
- ・検温アラームシステム整備事業費（銭函市民センター） 110千円[110千円]

・検温アラームシステム整備事業費（いなきたコミュニティセンター）	110千円[110千円]
・検温アラームシステム整備事業費（葬斎場）	502千円[502千円]
・病院事業会計繰出金	239,351千円[239,351千円]
・保健所体制強化事業費	24,298千円[36,376千円]
	(事業費のうち12,078千円は令和3年度へ繰越)
・医療専門学校オンライン化事業費補助金	6,973千円[6,973千円]
・検査室環境整備事業費	13,069千円[41,621千円]
・感染症患者宿泊療養施設等移送事業費	15,084千円[16,393千円]
	(事業費のうち1,309千円は令和3年度へ繰越)
・感染症医療物資備蓄事業費	42,964千円[42,964千円]
・クラスター対策事業費	4,971千円[5,866千円]
	(事業費のうち832千円は令和3年度へ繰越)
・新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発事業費	903千円[903千円]
・感染症患者受入医療機関等協力金支給事業費	92,560千円[92,560千円]
・感染症対応医療機関支援事業費補助金	20,743千円[20,752千円]
・介護保険事業所感染症患者療養受入経費補助金	817千円[817千円]
・10か月児健康診査個別実施支援事業費	1,174千円[2,110千円]
・「小樽で働く」就労支援事業費	14,747千円[14,747千円]
・雇用調整助成金等活用促進補助金	11,716千円[12,000千円]
	(事業費のうち284千円は令和3年度へ繰越)
・検温アラームシステム整備事業費（勤労青少年ホーム）	110千円[110千円]
・放課後児童健全育成事業費（勤労女性センター費）	516千円[470千円]
・検温アラームシステム整備事業費（勤労女性センター）	89千円[89千円]
・検温アラームシステム整備事業費（おたる自然の村）	231千円[231千円]
・強い水産業構築緊急支援事業費補助金	4,000千円[4,000千円]
・まるごと小樽プレミアム付商品券事業費	131,036千円[680,574千円]
・おたるワーケーション推進事業費	－千円[4,500千円]
	(事業費のうち4,500千円は令和3年度へ繰越)

・飲食店事業継続支援事業費	39,485千円[39,485千円]
・小売業等事業継続支援事業費	149,095千円[149,095千円]
・飲食店応援クーポン事業費	26,844千円[92,821千円]
・商店街応援商品券事業費補助金	7,943千円[7,943千円]
・小樽産品宅配システム支援事業費補助金	171千円[171千円]
・休業及び感染防止協力金支給事業費	4,816千円[4,816千円]
・飲食店支援金支給事業費	158,139千円[158,139千円]
・製造業等事業継続支援事業費	64,904千円[64,904千円]
・新型コロナウイルス感染症対応促進事業費	229,240千円[229,240千円]
・飲食店休業協力金支給事業費	98,082千円[98,082千円]
・事業継続支援事業費	223,775千円[271,980千円]
	(事業費のうち48,205千円は令和3年度へ繰越)
・新たな小樽フェア開催支援事業費補助金	11,937千円[11,937千円]
・バーチャル小樽物産展開催支援事業費補助金	16,000千円[16,000千円]
・自然観光資源整備事業費	19,989千円[19,989千円]
・観光誘致プロモーションビデオ制作事業費	－千円[15,000千円]
	(事業費のうち15,000千円は令和3年度へ繰越)
・冬季イベント開催事業費補助金	8,782千円[8,782千円]
・検温アラームシステム整備事業費（観光物産プラザ）	1,221千円[1,221千円]
・宿泊・観光事業者支援事業費	12,653千円[12,653千円]
・宿泊施設市民応援キャンペーン事業費	9,784千円[9,784千円]
・観光PR動画制作事業費補助金	4,100千円[4,100千円]
・堺町通り商店街観光需要喚起事業費補助金	5,500千円[5,500千円]
・宿泊業事業継続支援事業費	21,237千円[21,237千円]
・宿泊業事業継続追加支援事業費	123,802千円[123,802千円]
・宿泊業事業継続緊急支援事業費	34,776千円[55,700千円]
	(事業費のうち20,924千円は令和3年度へ繰越)
・特設ウェブサイト構築事業費補助金	1,500千円[1,500千円]
・SNSキャンペーン事業費補助金	787千円[787千円]

・宿泊施設誘客促進事業費補助金	26,820千円[26,820千円]
・青年会議所補助金	133千円[133千円]
・宿泊施設誘客促進追加事業費補助金	－千円[37,840千円]
	(事業費のうち37,840千円は令和3年度へ繰越)
・観光情報海外発信事業費補助金	1,100千円[1,100千円]
・体験型観光誘客促進事業費補助金	700千円[700千円]
・都市公園手洗い整備事業費	2,420千円[2,420千円]
・住宅事業会計繰出金	179千円[179千円]
・フェリー航路利用者感染防止対策支援事業費補助金	1,069千円[1,069千円]
・消防職員感染防止対策事業費	3,140千円[3,140千円]
・新型コロナウイルス等感染防止資器材整備事業費	8,393千円[8,393千円]
・検査業務資器材整備事業費	739千円[739千円]
・消防職員感染症対策防寒衣整備事業費	－千円[10,961千円]
	(事業費のうち10,961千円は令和3年度へ繰越)
・感染防止施設整備事業費	－千円[15,500千円]
	(事業費のうち15,500千円は令和3年度へ繰越)
・新型コロナウイルス感染症等患者移送車両整備事業費	－千円[49,830千円]
	(事業費のうち49,830千円は令和3年度へ繰越)
・救急業務高度化推進事業費	9,988千円[9,988千円]
・テレビ会議推進事業費	550千円[550千円]
・臨時休業等対策経費	747千円[747千円]
・学校衛生環境改善対策費(小・中学校)	1,083千円[2,166千円]
・感染症対策等事業費(小・中学校)	14,876千円[29,751千円]
・学習支援人材用パソコン整備事業費(小・中学校)	3,964千円[3,964千円]
・学校生活環境改善整備事業費(小・中学校)	11,695千円[32,534千円]
	(事業費のうち20,839千円は令和3年度へ繰越)
・学校教育活動継続支援事業費(小・中学校)	－千円[25,600千円]
	(事業費のうち25,600千円は令和3年度へ繰越)
・教育情報化推進事業費(小・中学校)	72,552千円[77,225千円]

・学習保障等対策事業費(小・中学校)	17,117千円[34,234千円]
・準要保護世帯特別給付金給付事業費(小・中学校)	14,950千円[14,950千円]
・修学旅行等キャンセル料支援事業費(中学校)	454千円[454千円]
・衛生管理改善事業費補助金	150千円[450千円]
・学校給食地場産品活用事業費補助金	5,200千円[5,200千円]
・学校給食費返還等事業費	1,059千円[4,234千円]
・学校給食費助成事業費補助金	12,856千円[12,856千円]
・学校給食事業者等支援事業費	2,605千円[2,605千円]
・放課後児童健全育成事業費	8,655千円[13,945千円]
・感染拡大防止対策事業費(図書館)	483千円[483千円]
・検温アラームシステム整備事業費(図書館)	242千円[242千円]
・図書貸出窓口拡充事業費	－千円[350千円]
	(事業費のうち350千円は令和3年度へ繰越)
・感染拡大防止対策事業費(総合博物館)	495千円[495千円]
・検温アラームシステム整備事業費(総合博物館)	968千円[968千円]
・日本遺産炭鉄港展示施設整備事業費	18,975千円[18,975千円]
・プラネタリウム設備等整備事業費	13,059千円[13,059千円]
・検温アラームシステム整備事業費(美術館)	484千円[484千円]
・学習パンフレット作成事業費(美術館)	972千円[972千円]
・検温アラームシステム整備事業費(生涯学習プラザ)	242千円[242千円]
・感染拡大防止対策事業費(総合体育館)	1,038千円[1,038千円]
・検温アラームシステム整備事業費(総合体育館)	629千円[629千円]
・職員給与費(職員手当等(特殊勤務手当))	8,707千円[8,707千円]
・職員給与費(職員手当等(時間外手当))	23,251千円[23,251千円]

<道支出金を活用した主な新型コロナウイルス感染症対策関連事業>

道の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

46,102千円[81,231千円]

- ・児童館関係経費（総合福祉センター費、児童福祉総務費）
（新型コロナウイルス感染症対応分） 1,047千円[1,047千円]
- ・感染拡大防止対策事業費補助金 4,845千円[4,845千円]
- ・市立保育所費（感染症対策事業費） 1,646千円[4,009千円]
- ・感染症対策事業費（こども発達支援センター費） 131千円[131千円]
- ・検査室環境整備事業費<再掲> 8,855千円[41,621千円]
- ・受診・相談センター設置事業費 29,578千円[29,578千円]

<その他の新型コロナウイルス感染症対策関連事業>

先に掲げた新型コロナウイルス感染症対策関連事業以外に、国庫支出金、道支出金等を活用し、以下の事業を実施

【括弧内の金額は予算現額】

192,901千円(444,095千円)

(令和3年度への繰越分を除く（予算現額）)

- ・生活困窮者住居確保給付金支給事業費 16,753千円(19,278千円)
(当初予算措置分324千円を除く（事業費）)
- ・障害児給付費（放課後等デイサービス） 4,282千円(243,879千円)
- ・遠隔手話サービス環境整備事業費 171千円(213千円)
- ・介護サービス提供基盤等整備事業費交付金 1,395千円(1,395千円)
- ・ファミリーサポートセンター事業費
（新型コロナウイルス感染症対応分） 369千円(425千円)
- ・塩谷児童センター運営経費（放課後児童健全育成事業費）
（新型コロナウイルス感染症対応分） 393千円(531千円)
- ・子どもの学習・生活支援事業費<再掲>
（新型コロナウイルス感染症対応分） 20千円(3,812千円)

- ・つどいの広場事業補助金
（新型コロナウイルス感染症対応分） 395千円(500千円)
- ・保育環境改善等事業費補助金 4,773千円(5,590千円)
- ・地域子育て支援センター事業費
（新型コロナウイルス感染症対応分） 1,450千円(1,500千円)
- ・市民会館・公会堂・市民センター施設関係経費（臨時休館等損失補填金） 17,453千円(17,454千円)
- ・いなきたコミュニティセンター施設関係経費（管理代行業務費等）
（新型コロナウイルス感染症対策経費） 272千円(273千円)
- ・新型コロナウイルス感染症対策事業費 92,313千円(92,336千円)
- ・分娩前新型コロナウイルス検査事業費 140千円(800千円)
- ・地域外来・検査センター事業費 4,946千円(6,253千円)
- ・健康管理システム改修事業費 6,094千円(6,094千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 29,899千円(122,132千円)
(予算現額のうち92,123千円は令和3年度へ繰越)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 一千円(516,414千円)
(予算現額のうち516,414千円は令和3年度へ繰越)
- ・放課後児童健全育成事業費（勤労女性センター費）
（新型コロナウイルス感染症対応分） 403千円(403千円)
- ・空調設備整備事業費（小・中学校） 7,313千円(7,350千円)
- ・放課後児童健全育成事業費（レクリエーション用具購入ほか運営費）
（新型コロナウイルス感染症対応分） 4,067千円(6,000千円)